

元ちゃん

今年の天気

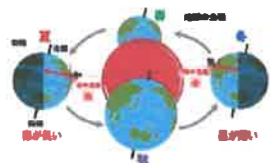
なんだかんだ言っても旧暦!

# 来年の天気

## 1. 今年の天気 (平成三十年)



暦	新暦	旧暦 (標準差)	平成30年 季節事象	新暦 (平年差)	旧暦
立春(二) 東風氷を解く(七)春節	30.2.4	旧廿九年十二月十九日 (+11)	春一番 (関東)	30.3.1 (+3)	一月十四日
うぐいす鳴く(七)	30.2.9	旧廿九年十二月廿四日 (+11)	うぐいす初鳴 (銚子)	30.3.11 (+15)	一月廿四日
春節	30.2.16 (+11)	一月一日			
桜始めて開く(七)	30.3.11	一月廿四日 (+11)	桜開花 (銚子)	30.3.20 (-11)	二月四日
玄鳥(つばめ)来る(七)	30.4.5	二月廿日 (+10)	つばめ初見 (銚子)	30.4.5 (+4)	二月廿日
立夏(二) 蛙始めて鳴く(七)	30.5.5	三月廿日 (+8)	ホウライガ初見 (銚子)	30.4.10 (+3)	二月廿五日
入梅(雑)	30.6.11	四月廿八日 (+7)	梅雨入り (関東)	30.6.6 (-2)	四月廿三日
立秋(二) 涼風至る(七)	30.8.7	六月廿六日 (+2)			
蛸鳴く(七)	30.8.12	七月二日 (+2)	ヒグラシ初鳴 (水戸)	30.7.9 (-5)	五月廿六日
十五夜	30.9.24 (+2)	八月十五日			
楓葉黄ばむ(七)	30.11.2	九月廿五日 (+1)	カエデ紅葉 (東京)	30.11.26 (-1)	十月十九日
立冬(二) 山茶はじめて開く(七)	30.11.7	九月三十日 (+1)	つばき開花 (銚子)	31.01.01現在 開花未観測	
北風木の葉を払う(七)	30.11.27	十月廿日 (+1)	木枯し一号 (東京)	-	-



暦 : 二十四節気(二)、七十二候(七)、雑節(雑) 他  
 旧暦標準差 : 当該新暦日の標準的な旧暦換算日(1981~2010年の30年平均)との比較  
 + <遅い> ・ - <早い>  
 新暦平年差 : + <遅い> ・ - <早い>  
 事象 : 平成30年における気象官署の季節観測(生物季節観測情報)

## 平成三十年 戊戌 <つちのえいぬ>

### 【春】新暦 30.2.16~30.5.14

“春の訪れは遅く、暖かきの恋しい始まりとなるでしょう”とはまさに今年の春! 予想通り! 新暦2月は本当に寒かった。ただし、予想が的中したのはここまでかな… その後は急に暖かく、いや暑くなりました。新暦3月は全国的に高温多雨で、特に東日本の月平均気温は統計開始以降1位。新暦4月も暖かくなり、東京では過去最高の夏日数(9日)を観測しました。一転、新暦5月の上旬は寒くなりました。この春の予想は少し外れたかに思えますが、植物はともかく、動物たちの初見、初鳴きは少し遅れているようです。今年、銚子でのモンシロチョウ初見日の平年差は+15日、ニホンアマガエルの初見日で平年差+3日、またキアゲハの初見日の平年差も+5日となっています。ねっ、あながち外れでもないでしょ



【写真: 弥生廿七日<新暦5月12日>:日暈出現!】

### 【夏】新暦 30.5.15~30.8.10

大雨、台風、そして暑さ等々、なかなか激しい夏でした。夏入り早々、東北地方で大雨。その後は台風が猛威を振るいました。まず6号が沖縄地方を直撃。7号は、梅雨前線と相俟って、西日本から東海地方にかけて記録的大雨をもたらしました(7月豪雨)。12号は珍しく東から西へ進みました。迷走(トロコダイル運動)台風でした。そして最後は13号。関東地方をかすめて北上。暑さも厳しかった。特に新暦7月は東日本で新暦1946年の統計開始以降第1位、西日本でも第2位の高温となりました。熊谷では41.1℃と全国1位の日最高気温記録を更新。梅雨も変でしたね。関東地方は新暦1951年の統計開始以降最も早く梅雨明けしてしまいました。元ちゃん予想は外れましたが、今年は台風に注意という点に関しては的中、かな…



【写真: 水無月十日<新暦7月22日>:積乱星人出現!】

### 【秋】新暦 30.8.11~30.11.7

そして、この秋も注目すべきは「台風」です。新暦8月12~16日は、1951年の統計開始以来、初めて5日間連続で台風が発生。新暦8月23~24日には台風20号が徳島県に上陸。新暦8月は統計史上2番目の多さとなる9個の台風が発生しました。新暦9月に入っても台風が続きましたね。新暦9月4日、台風21号が徳島県に上陸(その後神戸に再上陸)。この台風では、各地で観測史上第一位となる暴風が吹き荒れました。また新暦9月30日には台風24号が和歌山県に上陸。さらに新暦10月4~6日は台風25号が沖縄地方から九州の西を経て日本海を北上、温帯低気圧に変わっても北海道地方に大雨や暴風をもたらしました。“台風被害多し”。「夏」と同じくこの点元ちゃんの天候予想的中!



【写真: 葉月十五日<新暦9月24日>:芋名月出現!】

【十三夜月(新暦10月21日)】

### 【冬】新暦 30.11.8~31.2.4

新暦11月は暖かな日が続き、冬入りは遅くなりました。札幌では新暦11月20日に1876年以降最も遅い初雪を観測。この暖かきのせいでしょうか、新暦11月26日に横浜でタンポポが開花。こちらは1955年以来最も早い開花だそう。そして関東地方では39年ぶりに“木枯らし1号”の発表がなされませんでした。暖かな冬の始まりになったようで、ここまでは若干元ちゃん予想は外れたかも。ところが、一転新暦12月に入り急に寒くなりました。本格的な冬入りは新暦12月上旬とする元ちゃん予想はみごとの中! ちなみに、銚子における初霜は新暦12月16日で平年より5日遅いものの、初氷は同16日でこちらは平年より5日も早い観測となりました。なお、新暦1月1日に台風が発生しました。1951年以降最も早く新暦元旦では初のことです。

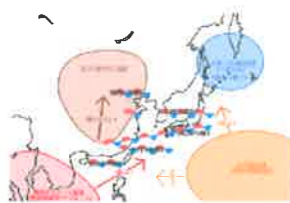


【写真: 神無月十四日<新暦11月21日>:十四夜月に暈出現!】

## 2. 来年の天気 (平成三十一年<●●元年>)



暦	新暦	旧暦 (標準差)	標準 旧暦
立春(二) 東風水を解く(七)	31.2.4	旧三十年十二月三十日 (±0)	十二月三十日
春節	31.2.5 (±0)	一月一日	(標準新暦) 31.2.5
うぐいす鳴く(七)	31.2.9	一月五日 (±0)	一月五日
桜始めて開く(七)	31.3.11	二月五日 (±0)	二月五日
玄鳥(つばめ)来る(七)	31.4.5	三月一日 (-1)	二月三十日
立夏(二) 蛙始めて鳴く(七)	元.5.6	四月二日 (-2)	三月三十日
入梅(雑)	元.6.11	五月九日 (-4)	五月五日
立秋(二) 涼風至る(七)	元.8.8	七月八日 (-7)	六月廿九日
蛸鳴く(七)	元.8.13	七月十三日 (-8)	七月五日
十五夜	元.9.13 (-9)	八月十五日	(標準新暦) 元.9.22
楓葉黄ばむ(七)	元.11.3	十月七日 (-10)	九月廿六日
立冬(二) 山茶はじめて開く(七)	元.11.8	十月十二日 (-10)	十月二日
北風木の葉を払う(七)	元.11.27	十一月一日 (-10)	十月廿一日



暦：二十四節気(二)、七十二候(七)、雑節(雑) 他  
標準差：+<遅い> ・ -<早い>  
標準旧暦：当該新暦日の標準的な旧暦換算日(1981~2010年の30年平均)

## 平成三十一年(●●元年) 己亥 <つちのどい>

概況：悠早季移(悠々と早まりゆく季節の移ろい)

【春】新暦 31.2.5~元.5.4

同週竹秋 (暦どおりに過ぎる竹の秋)



平成31年の立春は新暦2月4日、春節(旧暦元日)は新暦2月5日。ほぼ暦通りに春が始まります。また春の終わりの立夏に近く、この春は「平年並み」に過ぎていくでしょう。本格的な暖かさは、3月上旬(新暦)頃から。春の自然観察会はいつも通りで大丈夫。また春夏野菜の種蒔きも例年並みでよいでしょう。

いざ竹の 秋風聞かむ 相国寺(大江丸)

【夏】新暦 元.5.5~元.7.31

同流麦秋 (暦どおりに流れる麦の秋)



夏の始まりは新暦5月5日。前述のとおり立夏が新暦5月6日ですから、夏もほぼ暦通りにスタートします。夏は新暦7月31日まで。立秋よりは少し前に終わりを迎えます。「ほぼ平年通りに流れる夏、ただちょっと早めに終わるかも」と予想します。「梅雨入り」は例年並みか、少し早め。暑さが本気を出すのは6月初旬(新暦)頃からでしょう。豪雨には注意。

青みどろ 麦の秋にて 黄となれり(山口誓子)

【秋】新暦 元.8.1~元.10.27

早訪竹春 (暦より早い訪れ竹の春)



新暦8月1日からが秋で、平年並みか、少し早めの「秋入り」と予想します。ちなみに立秋は新暦8月8日。本格的に秋を感じ始めるのは、9月初旬(新暦)頃からでしょう。秋冬野菜の種まきは、ほぼ例年通りか少し早めで。この年は、台風、秋雨前線等による水害に注意した方がよいでしょう。十五夜(芋名月)は新暦9月13日、また十三夜(栗名月)は新暦10月11日。

七賢の 正月來たり 竹の春(正岡子規)

【冬】新暦 元.10.28~2.1.24

早喜春隣 (暦より早い喜び春隣)



冬は新暦10月28日から。少し早めに「冬入り」するようですね。また、冬の終わりの翌年の新暦1月24日ですから、「少し早めに過行く冬」と予想します。本格的な冬の訪れは11月下旬(新暦)頃からでしょう。2019年の正月(新暦)は「中冬」の後半。まさに寒さのピークですね。寒いですが、暖かくしてお迎えください。

庖丁の 音の小刻み 春隣(中村汀女)

元ちゃんの

今年の天気

余談

# 来年の天気

## 2019年の注意報



### ・過去の己亥(つちのとい)

- 1959年：伊勢湾台風、台湾洪水
- 1899年：別子大水害（新居浜市別子銅山）
- 1839年：天保10年洪水（吉野川）

### ・過去の災害(19年前※:2000年)

- 9月：東海豪雨

## ⇒2019年は水害に注意

### ちなみに、19年前（2000年）の天候概況

- ・概況：北日本・東日本・西日本の5月以降の高温傾向
- ・冬（新暦1999年12月～2月）：平均気温は北暖・西並傾向、北陸で少雪、西日本の日本海側で多雪
- ・春（新暦3月～5月）：気温は平年並、東日本では高温
- ・夏（新暦6月～8月）：北・東日本の顕著な高温  
梅雨：少雨（東日本の一部と西日本）
- ・秋（新暦9月～11月）：高温と不順な天候
- ・冬（新暦12月～2001年2月）：北日本低温、東・西日本は平年並み
- ・台風：上陸なし

※2019年と同じような旧暦配置